

## 令和3年玄海町議会定例会4月第2回会議会議録

招 集 年 月 日	令和3年1月7日（木曜日）						
招 集 場 所	玄 海 町 議 会 議 場						
開 閉 会 日 時 及 び 宣 告	再開・開議	令和3年4月26日午前10時00分		議 長	上 田 利 治 君		
	散 会	令和3年4月26日午前10時58分		議 長	上 田 利 治 君		
応（不応）招議 員及び出席並び に欠席議員  ○ 出 席 × 欠 席 × 不応招 出 席 9名 欠 席 0名	議席 番号	氏 名	出 席 等 的 別	議席 番号	氏 名	出 席 等 的 別	
	1	小 山 善 照 君	○	2	山 口 寛 敏 君	○	
	3	宮 崎 吉 輝 君	○	4	井 上 正 旦 君	○	
	5	池 田 道 夫 君	○	6	欠 番		
	7	友 田 国 弘 君	○	8	中 山 昭 和 君	○	
	9	岩 下 孝 嗣 君	○	10	上 田 利 治 君	○	
	会議録署名議員	8 番	中 山 昭 和 君		7 番	友 田 国 弘 君	
地方自治法第 121条第1項に より説明のため 出席した者の職 氏名	町 長	脇 山 伸太郎 君 中 島 安 行 君 加 納 晴 美 君 脇 山 和 彦 君 山 口 善 正 君 鈴 木 博 之 君			副 町 長	西 立 也 君 平 川 一 男 君 日 高 大 助 君 中 山 ふ み 君 中 村 大 造 君 中 山 昌 直 君	
	教 育 長				総 務 課 長		
出席した者の職 氏名	防 災 安 全 課 長	長			企 画 商 工 課 長	長	
	住 民 課 長 兼 会 計 管 理 者				健 康 福 祉 課 長		
出席した者の職 氏名	農 林 水 産 課 長	長			ま ち づ く り 課	長	
出席した者の職 氏名	生 活 環 境 課 長				教 育 課 長		
職務のために議 場に出席した者 の氏名	事 務 局 長	熊 本 秀 樹		議 会 事 務 局 主 査	松 本 辰 範		

## 令和3年玄海町議会定例会4月第2回会議議事日程（第1号）

令和3年4月26日 午前10時再開（開議）

日程1 会議録署名議員の指名について

日程2 会議期間の決定について

日程3 議案第26号 令和3年度玄海町一般会計補正予算（第2号）

---

午前10時 再開（開議）

○議長（上田利治君）

おはようございます。ただいまの出席議員は9名であります。定足数に達しておりますので、これより令和3年玄海町議会定例会4月第2回会議を再開いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

日程に入るに先立ち、諸般の報告を職員にさせます。

○議会事務局長（熊本秀樹君）

報告いたします。

本定例会4月第2回会議に、別紙のとおり補正予算1件が町長から提出されております。

以上でございます。

○議長（上田利治君）

本日の議事日程につきましては、あらかじめお手元に配付しております議事日程表によって御了承方お願いいたします。

日程1 会議録署名議員の指名について

○議長（上田利治君）

日程1. 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第108条の規定により、8番中山昭和君、7番友田国弘君を指名いたします。

日程2 会議期間の決定について

○議長（上田利治君）

日程2. 会議期間の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。本定例会 4 月第 2 回会議の会議期間は、本日 4 月 26 日の 1 日間としたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田利治君）

御異議なしと認めます。よって、本定例会 4 月第 2 回会議の会議期間は、本日 4 月 26 日の 1 日間とすることに決定いたしました。

### 日程 3 議案第 26 号 令和 3 年度玄海町一般会計補正予算（第 2 号）

○議長（上田利治君）

日程 3. 議案第 26 号 令和 3 年度玄海町一般会計補正予算（第 2 号）を議題といたします。提案理由の説明を求めます。脇山町長。

○町長（脇山伸太郎君）

おはようございます。それでは、提案しております議案について提案理由の説明を申し上げます。

令和 3 年度一般会計の補正予算が 1 件でございます。

議案第 26 号 令和 3 年度玄海町一般会計補正予算（第 2 号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 5,000 千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を 8,056,800 千円とするものでございます。

まず、歳入補正予算としましては、18 款繰入金、2 項基金繰入金、8 目ふるさと応援寄附金繰入金 5,000 千円の増額は、今回の歳出補正予算が新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫補助金の対象外となるため、寄附金基金を取り崩し、充当するものでございます。

次に、歳出補正予算を御説明いたします。

4 款衛生費、1 項保健衛生費、2 目予防費 5,000 千円の増額は、新型コロナウイルスワクチンの接種に際し、移動手段がない方がタクシーを利用する場合に、その料金の一部を助成するため計上するものでございます。

歳入で御説明しましたとおり、国庫補助金の対象外でございますが、本町の公共交通の状況を踏まえまして、ワクチンが接種しやすい環境を整えるため、公共交通の利用や家族の送迎が見込めない方につきまして、片道につき 500 円を超えた額を助成するものでございます。

以上、提案の理由を申し上げましたが、どうか御審議の上、原案どおりの御決定をいただきますようお願いいたします。

○議長（上田利治君）

これより質疑に入ります。小山善照君。

○1番（小山善照君）

おはようございます。まずお伺いしたいのが、ここに別添えの資料としていただいておりますが、予算5,000千円になった根拠を、ここに文字では書いてありますけれども、文言で説明していただけないかと思ひまして、よろしく申し上げます。

○議長（上田利治君）

中山健康福祉課長。

○健康福祉課長（中山ふみ君）

おはようございます。それでは、小山議員の御質問に対し御答弁申し上げたいと思ひます。交通手段がない町民への支援策としまして、今回、5,000千円のタクシー利用料の補助につきまして御提案を申し上げます。

この5,000千円の根拠ということでございます。まずは、5,000千円の予算を立てるに当たりまして、タクシー利用を、どうしても交通の手段がない方が利用される手段として、個々の御自宅から接種を受けられる会場まで乗車いただくと。その際に、走行距離としましては大体6キロを想定しております。この根拠としましては、玄海町の地勢としまして、東西に7キロ、南北に9キロというような地勢でございますので、6キロ走行であれば、今回、集団接種会場を社会体育館、それから、値賀第2コミュニティセンター体育館の2か所で行わせていただこうと考えておりますけれども、社会体育館に町民の方が来られる際に、6キロの距離を想定しておけば大丈夫ではないかというようなことで、6キロで想定をしました。そうしますと、タクシー運賃は片道当たりですけれども、2,090円ほどかかるということで、こちらを往復利用され、そして、ワクチン接種はお一人2回受けていただく必要がございますので、これを2回分としますと、8,360円の費用がかかります。そこに自己負担を片道当たり500円求めるといふことにしますと、往復千円、それを2回分ということで、2千円の自己負担をしていただくということで、それを差し引きますと、町の助成額として6,360円という金額が出てまいります。それを利用者として、ちょっと多めに想定はしておりますけれども、800人というふうに今回想定をさせていただいております。これを800人で掛け合わせますと、約5,000千円となるものでございます。

この利用者800人というふうに設定した根拠でございますが、接種対象者が約4,400人ほど

おられると。この方々が90%接種をされたと仮定し、求められる人数は4,000人ほどとなります。そして、運転免許をお持ちでない方の割合が、これが令和元年のデータでございましたけれども、町民の方の非保有率が大体2割ほどというデータがございましたので、それを乗じたところ、約800人という——これはかなり大きめの数字、そして、大きめの予算額となっているものと思いますけれども、あくまでも交通手段が家族からの送迎支援なども見込めない、そういった方々にこの支援をしたいというふうに考えているものでございます。

以上でございます。

**○議長（上田利治君）**

小山善照君。

**○1番（小山善照君）**

今の説明で予算立ての根拠としては分かりました。

それで、800人という数は十分対応できるといいますか、多め多めに見込んでこの人数にしておりますということなのですが、例えば、今ここに「町内に住所を有する方で、自身で運転できない」云々と書いてありますが、これは自己申告になりますよね。実際は運転できる、実際は家族の方の支援も見込める、それでもタクシーを使うというような話の方でも入っているというふうにとれるんですけれども、その辺の線引きといいますか、例えば、Aさんは免許を持ってあるでしょう、家族の方も御一緒でしょうというような証明立てみたいなのも取られるんですか。

**○議長（上田利治君）**

中山健康福祉課長。

**○健康福祉課長（中山ふみ君）**

このタクシーの助成事業でございますけれども、事前の審査ですとか、そういったことを行う予定はございません。あくまでもワクチン接種が円滑に、ワクチン接種を希望される方が交通手段がないために接種を諦めてしまわれることがないように対策を講じたいというものでございまして、そこは広報の際に、タクシーの台数にも限りがございますので、家族の支援、それから、御友人などとの乗り合わせ、そういったこともできる限りお願いいたしますということで広報をさせていただきたいというふうに考えているところです。

**○議長（上田利治君）**

小山善照君。

○1番（小山善照君）

物すごく悪い言葉で言えば、お互い相互信頼の上でということですよ。変な使い方をされる方がおるとは思えませんけれども、取りようによっては、誰でもいいよ、何でもいいよというふうな話になっていかんとも限りませんので、チェックを厳しくしろという意味ではないんですけれども、やはり該当される方を助けてあげたいというのが趣旨になっていくと思うので、その辺は見るとはなしにも見られたほうがいいんじゃないかなとは思いますが。

それで、町負担額で6,360円という金額がはつきり出ていますけれども、これは上限というわけじゃないですよ。これ以上にはならないだろうという金額を立ててあるんだろうと思うんですけれども、仮にこれが超えたとき、例えば、7千円になったときでもおっしゃるような助成をされていかれるんでしょうか。

○議長（上田利治君）

中山健康福祉課長。

○健康福祉課長（中山ふみ君）

今回、乗車料金のうち500円については自己負担を求めさせていただきます。町が助成する額は、片道当たり500円を超えた分について助成をするものでございます。

こちらの1人当たりの助成額6,360円としておりますのは、あくまでも予算の積算をするに当たりまして、これぐらいの費用を見ておけば大丈夫ではないかという目安の額でございます。

○議長（上田利治君）

小山善照君。

○1番（小山善照君）

あくまで目安の金額ですので、これが7千円になったときには今おっしゃったように500円引いて6,500円と。二百何十円ほどの差額ではありますけれども、そこまで込みで助成をしますということですよ。

○議長（上田利治君）

中山健康福祉課長。

○健康福祉課長（中山ふみ君）

議員がおっしゃいますとおりでございます。

○議長（上田利治君）

小山善照君。

**○1番（小山善照君）**

公共交通機関としてタクシーを利用される理由というのはその辺の話であるとは思いますが、私たちがの立場から言わせていただければ、玄海町にはコミュニティバスとか庁用車等々、一定数を持っていますよね。そのあたりを利用してというか、まず、現有勢力の中からこれをやっていくんだというような考え方もあったんじゃないかと思うんですよね。その辺の検討が済まれて、いや、それよりもやはりこの方式がいいんだというようなことになった、そのプロセスですよ。そのあたりは開示できますか。

**○議長（上田利治君）**

中山健康福祉課長。

**○健康福祉課長（中山ふみ君）**

接種会場までの移動ですけれども、こちらはワクチンの接種が完全予約制という形で行うことから、予約時間に間に合うように各自が会場に来ていただくというのが原則でございます。

基本的には、各自で接種会場までの移動をしていただくというのが基本になるかとは思いますが、ですが、御自分で車を運転されない方など、例えば、社会体育館などで行おうとしております集団接種ですけれども、こちらは接種を受けられる方の利便性とか、あとは医療従事者の方の人員確保という観点もありまして、土曜日、日曜日を中心に実施をしていく計画としております。特に、日曜日でありますと、コミュニティバスが運休をしているというようなこともございまして、移動の支援策というものが要ということで検討してまいりました。集団接種の場合、例えば、日曜日ですと、午前9時から、お昼を挟みまして午後3時までの間で接種予約を受け付けるような予定としております。この接種の時間帯に、個々の御希望で時間帯をそれぞれ選択されて予約を取っていかれるというような、そういうワクチン接種の状況でありますので、例えば、ワクチン接種用のバスの運行をすればとしましても、町内全域を走らせる必要があり、接種予約時間との調整というところがなかなか難しいというようなこと、また、地区ごとにコミュニティバスのような乗り場を決めて、そこにお集まりいただいて、そこから乗車していただくというような形を取るなどしなければ運行自体もなかなか難しいというようなことで、いろいろと課題が出てまいりました。

接種会場までの移動手段がない方については、やはり個々に御自宅から会場までタクシー

を利用していただくというのが一番合理的なのではないかというようなことで、今回、タクシー利用料の一部を助成するというような支援の方法を行いたいということで御提案を申し上げたところでございます。

**○議長（上田利治君）**

小山善照君。

**○1番（小山善照君）**

ある程度のルート設定や、送迎に関しては、個人の予定、段取りを優先したときに、そういう形ではちょっと漏れが出るんじゃないかと。じゃ、個人さんの理由に合わせて来てもらうという話だったら、それはタクシーが一番でしょうというような理屈ですよ。確かに、本当に足がない方、自分で来れない方に対して、例えば、タクシーあたりを使うというのは、これは物すごく当たり前の話で、ありがたい話ではあるんですけども、今、課長がおっしゃるように、日曜日はコミュニティバスが走っておりませんと。コミュニティバスの時間に合わせて接種会場に来てくださいじゃなくて、休んであるならなおのこと、今おっしゃっておったように、この地区、あの地区、その地区とある程度予約云々かんぬんで時間等々の把握がもし仮にできるのであれば、そのあたりを優先して、そういうやつで送迎ができたのかなとも、ふと思うんですよ。それが難しいのでタクシーにしてくださいというような理屈なんですよけれども、私が今言うたような感覚でよろしいんですかね。

**○議長（上田利治君）**

中山健康福祉課長。

**○健康福祉課長（中山ふみ君）**

現在、確保できているワクチンの数も限られているような状況でございまして、ワクチンの供給がある程度十分に参るということになってくれば、もう少し方法も、接種のやり方というものもあるかもしれないんですが、現在、65歳以上の高齢者が玄海町は1,800人強いらっしゃる中で、玄海町に23日の金曜日に初めて1箱目のワクチンが役場に到着しました。これ以降のワクチンの供給というのが今まだ確定事項となっていないような中で、限られたワクチンをできるだけ早く町民の方々に接種機会をつくるということを考えてきたときに、まずは65歳以上の高齢者の方もさらに細分化をして、今回、80歳以上ということで区切らせていただいて接種を行うことにしておりますので、こうした状況もありまして、移動手段の件につきましても、集団で輸送というようなことがなかなか困難ではないかとい

うことで、個別の対応をとということで考えさせていただいたところでございます。

○議長（上田利治君）

小山善照君。

○1番（小山善照君）

要は、打つべきワクチンの数がある程度限られておりますと。その中で、80歳以上の方々に先に接種していきたいと。そうなってくると、今おっしゃっておったようなこの方法が一番漏れがないんじゃないかということですよ。そういう考え方でやっておりますという話ですよ。弱者の方に手を差し伸べるというのは決して悪いことではないと思うんですよ。その中で、やはり自分たちとしてはタクシーありきのような話に、これだけを見るとそういうふうに見えてくるもので、そうじゃなかったんですよ、これだけ検討した結果、ここに持っていったんですよというのは、やはりぽんと出される前ぐらいに、こういう検討をして、この考えに至りましたというのをお示しいただければ、今私が言いよるようなことは全て省けたのかなとも思いますので、やり方としましても、こう決めたからこうするんだじゃなくて、ある程度臨機応変に、じゃ、こうしようか、ああしようかというのが現場の当日あたりでも出てくれば、ある程度、それなら都合よくといいますか、それこそ臨機応変に対応していくと言ってもらいたいと思うんですけれども、その辺いかがですかね。

○議長（上田利治君）

中山健康福祉課長。

○健康福祉課長（中山ふみ君）

議員おっしゃられますとおり、こうしたことを行わせていただきたいというような事前の説明の機会を、ちょっと私の不徳の致すところで、なかなかそういう機会をいただかないままに今回の御提案となってしまいましたことにつきましては反省をしておりますし、今後はそういったところに注意しながら進めさせていただきたいというふうに思っております。

○議長（上田利治君）

小山善照君。

○1番（小山善照君）

ありがとうございます。そういうふうで事前に教えていただければ、疑問点も少なくなっていくし、そのときに解消していただければ、非常に気持ちよくこういう話でも、ああ、それはよか話ですねと言えるようになっていけるんじゃないかなと思いますので、ひとつよろ

しくお願いいたします。

それで、これは関連になるのかもしれませんが、接種の状況ですよね。今お伺いしている分では、300人分ほどが施設とか云々、接種した後に300人分ほどのワクチンが手元に残りますと。残りますという言い方がどうなのかとは思いますが、それを80歳以上の方に予約を取って接種していきたいということですよ。

その中で、私ふと、これは違うのかもしれませんが、予約制で打っていくというのは、早い者順、早い者勝ちのように聞こえたんですけども、そうではないんですよ。

**○議長（上田利治君）**

中山健康福祉課長。

**○健康福祉課長（中山ふみ君）**

今、議員御質問の先着順、早い者勝ちではないかという点につきましては、結果としては、やはり先着順、早く予約を取っていただく方から予約の枠がどうしても埋まるということで、結果的にはそういう形になるかというふうにお答えしたいと思います。

現在の玄海町のワクチン接種のスケジュールにつきまして御説明をさせていただきたいのですが、お配りしておりました説明資料の1ページを御覧いただきたいと思います。

65歳以上の高齢者の接種以降が、町が実施主体となって接種を行うこととなっております。

先ほども申し上げましたが、玄海町にはワクチンが、4月23日の金曜日に役場に1箱配送されております。この1箱といいますのは、1箱の中に小さな、バイアルというふうに呼ばれますけれども、ワクチンの小瓶が全部で195個入っています。この1つの小瓶に現在のところ5回予防注射をできるワクチンが入っておりますので、195瓶掛ける5回ということで、回数にしたら975回分のワクチンが届いております。これが配送される際の最小の単位というふうになるものです。この975回は、ワクチンの供給が現在まだ不確定な状況においては、お一人の方が3週間後に2回目を接種する分まで、この975回で賄うことを前提に考えていかなければなりませんので、そうなりますと、これを2で割って、人数にしますと487人分のワクチンが届いたということがございます。先ほど申し上げましたように、玄海町の65歳以上の人口ですけれども、約1,800人、1,800人を少し超えているような人口でございますので、65歳以上の高齢者数からしますと約26%のワクチンということになります。

こういう状況から、できるだけ円滑に接種を進めるということから、まず、玄海町では高齢者入所施設の入所者につきまして、5月6日から接種を行っていただくことにしております。

す。そして、その際には、同時に従事者、施設の従業員の方の接種も併せて実施をしていくこととしております。これは、やはり施設でのクラスターの予防、それから、高齢者の方が感染されますと大変重症化されますので、その予防を講じるためにこういうやり方をしたいというふうに考えております。そうしますと、ここで大体190人分ぐらいのワクチンが必要と見込んでおりますので、残る約300人分ぐらいのワクチンについては対象の年齢を80歳以上ということで、65歳以上をさらに細分化する形で、接種券を今月中に80歳以上の方にお送りしまして、そして、5月16日と22日に公共施設での集団接種ということで、約300人をこの2日間で実施することと考えております。

集団接種の場所につきましては、社会体育館、それから値賀第2コミュニティセンターというふうに計画をしております、資料の2ページに詳しい日程と受付時間、そして、会場をお示ししているところです。

現在、ワクチンの供給がここまででございますので、これまでの予定しか現在のところ確定はしておりませんが、今後のワクチンの供給状況により、次の高齢者の79歳以下の方につきまして、接種券の送付ですとか、接種の会場ですとか、そういったところを供給に合わせて準備をしていきたいと考えているところでございます。

なお、この5月16日と22日の集団接種に関しましては、予約の受付開始を連休明けの5月6日から行わせていただくというふうに考えているところでございます。予約の方法は、コールセンターにお電話をかけていただく方法と、インターネットによる予約、それから、LINEからの予約と、3通りの予約方法を準備し、周知をさせていただくこととしているところです。

**○議長（上田利治君）**

小山善照君。

**○1番（小山善照君）**

物が限られているので、こういうやり方をしたいということで理解はできます。

ただ、予約の仕方が何通りかあるようなんですが、高齢者御本人さんが間違いなくできるというのは多分電話ぐらいかなと思ったりもするんですけども、身内の方とかがおられれば、今おっしゃったようなインターネット、LINEというのも使ってできるんじゃないかと思うんですが、おっしゃられるように、独り暮らしであるとか、高齢の御夫婦が2人とかという話になってくると、やはり電話頼りになってくると思うんですが、コールセンターで何台

といいますか、集中したときにさばき切れるのかどうか。80歳以上の方がたしか670人ほどおられるということで、670人が一遍に電話をかけてこられるということはないのかなと思わんでもないんですけども、その辺は自信持ってさばき切れますというぐらいの対応はされてあると思ってよろしいんですかね。

**○議長（上田利治君）**

中山健康福祉課長。

**○健康福祉課長（中山ふみ君）**

コールセンターの回線数といいますか、そういった御質問だったかと思います。

まず、5月6日の木曜日から8時30分スタートで一斉に受付をするということで計画しております。5月6日と5月7日につきましては、特に集中するのではないかということを見込んでおり、このときは10の方が同時にコールセンターと話せるような状況をつくっていただくように打合せをしております。それ以降につきましては、5回線という通常の状態、5人が同時にお電話されてお話ができる状態ということでしておるところです。

どうしてもコールセンターにかからないというようなときには、玄海町のコロナワクチン対策室の電話番号も一緒に掲載をしておりますので、そちらのほうにかけてこられる住民の方もおられるのかなというふうには思っているところです。

**○議長（上田利治君）**

小山善照君。

**○1番（小山善照君）**

今の話をお伺いしておけば、さほど大きな混乱は出ないのかなという感覚はありますよね。他市町と比べれば圧倒的に人口が少ないのがこういうときには幸いなのかと思ったりもいたしますよね。先日、新聞やニュース等で見ると、必ずコールセンターは混乱して、ほぼほぼ壊滅状態のような話も伺うもので、そういうことで考えていけば、玄海町は逆に人数が少なかったのが幸いな結果になっていくような気もいたしますので、それはよかったと思うんですけども、私たちがふと疑念を抱くのは、要は数が限られているところの中で、どうしても301人目の方が出てくるわけですよね。この301人目の方に対する、ああ、すみません、ここで足切りなんですと、物が決まっておるので足切りのラインが出るのは当然だと思いますけれども、その人あたりが、例えば、何でと聞かれたときに、それに対応できるというか、説明できる話をきちっと持っているのかなと思うんですけども、その辺いかがですか。

○議長（上田利治君）

中山健康福祉課長。

○健康福祉課長（中山ふみ君）

今回のコロナワクチンの接種につきましては、国も当初から十分なワクチン量を確保できないということを見込んでいるといたしますか、そういった状況であることから、国のほうで接種の順番というのは実施主体である市町村に示すということになっております。それが先ほど申し上げました、65歳以上の高齢者が市町で実施する一番最初の優先順位の方でございます。

このワクチンの状況の中では、65歳以上の高齢者という枠の中で、年齢を細分化して対応していくということも国からは明示をされておりますので、あくまでも私どものほうでは確保できているワクチン量を見た上で、どこで細分化するかというところを判断して、そして、今回、80歳以上としたわけでございますけれども、そこでどうしても今回の予約の枠から漏れてしまわれる方がおられたとしましたら、その際には、やはりこうした国が示す接種順位に基づいて玄海町のほうで接種を行っているところであり、ワクチンの供給が今後徐々に行われていく見込みでありますので、また次のワクチンの確保が出た際に予約をお取りいただくということを丁寧に御説明する以外はないのかなというふうに思っておるところです。

○議長（上田利治君）

小山善照君。

○1番（小山善照君）

課長がおっしゃるとおりに、人数分あれば何も問題ない話で、予約制、順番が仮に1から10番、100番とついても、それは仕方ないと思うんですよね。要は、1番目でも301番目でも接種できますよという話の中であれば、この予約制、早い者順というのも分からなくはないんですけども、お伺いしたところ、80歳以上の方が670人程度おられると。要するに、300人全部打ったとしても、残りの方のほうが圧倒的に多いということになってきたときに、予約制、早い者順ということで、町民の方、80歳以上の670の方に御理解いただけるのかなというのがあるんですよね。丁寧な説明、ごめんなさいという話で納得される方と納得されない方がおられる。納得されない方にも納得していただかなければいかんわけですからね。

だから、このコロナのワクチンを打つという話が、要は80歳以上の方の、ここを助けていくのか、それとも大きな大儀の中の蔓延防止ということで軸足を置いて、例えば、この地区、

あの地区、その地区、例えば、交流人口の多い寮とか、旅館といいますか、民宿があるところとかから先に打っていったほうが不公平感がなかったような気もふとするもので、その辺の検討は当然されたと思うんですけれども、先ほどのタクシーに決まったということと同じプロセスがこういう話の中でも出たのかなと思ひまして、その辺はどうなんでしょうか。

○議長（上田利治君）

中山健康福祉課長。

○健康福祉課長（中山ふみ君）

コロナワクチンの接種の進め方につきましては、先ほども申し上げましたけれども、ワクチンの供給量が十分じゃないような状況の中で、優先順位がある中で、さらに優先をつけるということになっていくわけでございます。その際のやり方としては、やはり国のほうから年齢ということを、そこはどうしても年齢が高い方ほど重症化されるリスクが大きいということであるんですけれども、そういったことで示されておりますので、交流人口の多いところからの接種とかいうことは、現在私どものほうで検討はしなかったというのが実情でございます。

○議長（上田利治君）

小山善照君。

○1番（小山善照君）

地区を限定するという話も、例えば、ここにあります65歳以上を対象にしろと言ひよるんじゃないんですよね。そういう地区の80歳以上の方々が、例えば、300人で収まっておるなら何も心配せんでよか話じゃなかったのかなと思ひたりするんですよね。例えば、A地区は65歳以上が100人おられると、そういうことじゃなくて、A地区に80歳以上の方が何人おられるんだと。例えば、寮がある、宿舎があるというようなところの地区の80歳以上の方からやっつけていかれたほうがよかったんじゃないかなと思ひますよね。その検討はなされていないということであれば、これは私もこの時点で何とも言えないところではあるんですけれども、そういう考え方はどうなんでしょうかね。

○議長（上田利治君）

中山健康福祉課長。

○健康福祉課長（中山ふみ君）

何度も同じことを繰り返してしまい大変申し訳ありませんが、接種の進め方として、どう

しても国の示す接種順位等に沿う形で本町も実施をしていくということでございますので、あくまでも年齢のほうで優先順位をさらにつくらせていただいて、そして、そこで接種を御希望する方を予約という方法で募るといいますか、そういった形でやらせていただくということで御理解をいただきたいと思えます。

○議長（上田利治君）

小山善照君。

○1番（小山善照君）

国からのお達しということですよ。しかし、ある意味では、県単位、市町単位でやり方は考えてくれというようなところもあったかと思うんですよ。1から10まで国がこう言うたけんがと、それがうちに当てはまるのかどうかですよ。

玄海町がどう蔓延を防止していくか、どう高齢者の方にワクチンを接種していくのかということ考えたときには、ここからの考え方じゃなくて、幾つか考え方がある中でこれを選びましたということなら、それはそれで仕方がないのかなと思うんですけども、国が、県がと言われても、いや、実情が違うでしょうと。うちあたりと、例えば、現在、玄海町はコロナの陽性者の方が出ていないような状況ですよ。それだけ予防ということに関しては関心が高い、人口交流がよその市町より多少少ないということを考えましても、現在、蔓延しているというような状況ではないですよ。しかし、隣の唐津市あたりを見ると、かなり増えています。まだ追えるような状況で陽性者が出ているということですので、それがいきなりこっちに飛び火してくるということは考えづらいのかもしれませんが、今言うたように、ランダムに1人ずつ接種していくということよりも、その辺も考え方としてあったんじゃないかなと思うんですよ。しかし、先ほどお伺いしたら、いや、それはなかったということなので、これはもうこの話でいくにしても、次のワクチンがいつ入るか分からないと。仮にそれが人数分入れれば何も問題ない話なんでしょうけれども、これがまた限られた分しか入らないと。それで圧倒的に量が足りないという話にきつとなると思うんですよ。現にまだ370人ほどの80歳以上の方が受けられないということになっているわけですからね。次また300人分といたら、ここから始まるわけでしょう。そうなってくると、やはり次のときにはそのくらいまで網を広げると言ったら言い方がどうかと思うんですけども、もっと柔軟な考え方をされてもいいんじゃないかと思うんですが、どうですか。

○議長（上田利治君）

脇山町長。

○町長（脇山伸太郎君）

先日、接種対策室と色々な協議をいたしました。まず、GM21で新型コロナウイルスワクチンの接種の状況ということで私も質問させていただきました。そして、いろいろなお話を聞く中に、先ほど答弁もありましたけど、コールセンターがパンクして、役場に電話がかかってきて、今度は役場もいろいろな業務ができないような状況だということも聞いて、そして、対策室と一緒にこの接種について話をしたわけですが、地区ごとの普通の集団検診がありますね、そんなふうな形で順番にしていっていいんじゃないかなといった話を私もしたんですけれども、何分まだ1箱しか、19日の週に来るということで、やっと23日、最終の金曜日に来たぐらいで、そして、その後も、これからどのくらい入ってくるという状況が分かりません。

今、課長が答弁しましたように、今回は5月16日と22日と、300人分ぐらいが高齢者施設の方の残りの分がありますので、まず、80歳以上の高齢の方からということで、そして、これも先ほど申されましたように、北部あたりの旅館とか、そういった接触される方たちが多いところをということもありますが、今後の入荷状況に応じてその点のことはずっと検討していかなくちゃならないと思っています。大量に入ってくれば、それである程度対応できますけど。

ただ、もう一つ問題なのは、玄海町にお医者さんが2人しかいらっしゃいません。それと、唐津東松浦医師会のほうにもお願いしないと、対応される看護師さんなんか10名弱ぐらいしか要るんだって思っております。そういったところで、こういった集団接種も、ぽんぽんと集団検診みたいに毎日するという対応ができないと思うんですね。それと、唐松の医師会ですので、唐津市の状況もありますので、だからといって玄海町にたくさん唐津東松浦医師会のほうが対応できるというような状況でもないですし、今まだ医師会のほうからきちんとした回答は来ていないような状況です。

あと、入りぐあいと、集団接種がたくさんできるようになったときに、先ほどのコミバスの利用ですね、そういったところも今後検討しながら、より早く皆さんに接種できるような体制をしたいと思っていますところ。ただ、本当にワクチンが入る状況が分からないところが私たちもなかなか対応が難しいところです。

○議長（上田利治君）

小山善照君。

**○1番（小山善照君）**

今、町長の御説明で、要は物さえあれば何も問題ないんですよというのは私たちもそう思います。その中で、限られた分しか来ない。じゃ、この限られた分でどうやっていくかというのは、やはり多方面から検討されて、一番いい方法、これがベストではなくてもベターだという方法をよろしく検討していただいて、要は町民が安心して待てるような状態、それに対する理由づけとございますか、そういうことをしっかり考えていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

議長、以上です。

**○議長（上田利治君）**

脇山町長。

**○町長（脇山伸太郎君）**

先ほどのGM21の件もお話ししました。いろんな制限があるようで、例えば、質問した中に、ワクチンが5人分ですけれども、5人分を溶かして接種できる状況になったときに予約の人が来ない場合、その余った分をどうするかという質問等もさせていただきました。でも、県はそのときにはきちんとした回答はされませんし、最終的に私たちが思うのは、県としての見解をきちんと、市町によって対応が違うと思うので、ある程度の大枠は言えるかもしれませんが、きちんとした答えは出てこないんじゃないかなと私は思っています。

だから、先ほど小山議員も言われましたように、場合にもよりますけれども、玄海町なら玄海町、人口が少ないところのやり方、あと、ワクチンの配付状況も人口の多いところからそういった比率で来るものか、今後はそういったところが分かりません。

それと、玄海町の場合は、よそから原発関係で寮とかも来て、住民票を持たない方たちにはそういった対応も必要なので、玄海町はこんなふうに寮の人とか住民じゃない人もいますけど、そういった対応はワクチンの量とかも大丈夫ですかということもお話はしていますけれども、答えは今のところ出てきている状況ではございません。

以上です。

**○議長（上田利治君）**

井上正旦君。

**○4番（井上正旦君）**

今回の議案では、交通手段がない町民への支援策としてタクシー代を支援するとあります。

2回の運賃代として8,360円、自己負担額2千円とあります。このことを町民の方に説明したら、どう言われたと思いますか。自己負担の2千円はどうにかならんとねと聞かれました。町民の意識とはそういうもので、小さい額でも、500円が4回の2千円のほうに意識が行ってしまいます。

今回の事業で、タクシー送迎ありきのやり方は少しやり過ぎじゃないかと思います。実施日にしても、土日を予定されているのにもかかわらず、町はコミュニティバスやスクールバスさえ活用することを考えた形跡がありません。いつも空気を運んでいる状態なのに、簡単にお金で解決しようと町民には映っております。予算の執行にはもっと熟慮の跡が見えるような経過説明をしてほしいと思います。家族にお年寄りがいれば、家族が送迎するのは当たり前でしょう。

そこで提案ですが、どうしても接種後15分間は副作用のある、なしを見届ける必要があるので、せめて帰りはコミュニティバスやスクールバスで十分対応できると思いますが、いかがでしょうか。

**○議長（上田利治君）**

中山健康福祉課長。

**○健康福祉課長（中山ふみ君）**

井上議員の御質問の中で、500円の自己負担のことについてございましたので、私のほうで、この500円の考え方をまずもって御説明したいと思います。

自家用車でいっちゃったりとか、中には路線バスを使われて会場までお越しになる方もいっちゃいます。車であればガソリン代がかかる、路線バスであれば、町内、一番高くかかるかなと思いましたが、例えば、小加倉地区から平尾の値賀のコミュニティセンターまでいっしゃる方がおられたとしたときに、大体450円ぐらいのバス代がかかるというようなことを考慮して、それらの負担よりも一定額はちょっと割高とした500円という金額、あと、ワンコインで利便性もあるのではというようなことで、500円というような自己負担の設定をさせていただいたところでございます。

あくまでも御家族とお住まいの方ですとか、御近所の方との乗り合わせとか、そういったところはこの事業の広報の際に御協力いただけるように周知をさせていただきたいというふうには思っているところです。

○議長（上田利治君）

井上正旦君。

○4番（井上正旦君）

接種を受けに来る分にはタクシーもいいでしょうけれども、15分間、様子を見なきゃいかん時間があるわけですから、何名か一緒にスクールバスとかコミュニティバスで送る、そういうチャンスがあるわけですから、せめて帰りぐらいはぜひ利用してもらいたいと思っております。

○議長（上田利治君）

脇山町長。

○町長（脇山伸太郎君）

まずは5月16日から集団接種が始まります。その間にまだ少し時間的余裕はありますので、いろいろ検討はしていきたいと思っております。

まず、この500円の区画というか、自己負担が出たのも、先ほど課長が申しましたように、それと、移動手段を持っていらっしゃる方は、わざわざ500円、1回往復だと千円を出してまでされないと思っています。もちろん、移動手段がない方のための、自己負担がちょっとありますけれども、タクシーを安易に使われないような形も必要かなと思った部分もございました。

もう少し日にちがございまして、井上議員が言われるような対応等とかもできるようにありましたら、ちょっと検討していきたいと思っております。

○議長（上田利治君）

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田利治君）

以上をもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田利治君）

以上をもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

議案第26号 令和3年度玄海町一般会計補正予算（第2号）は原案のとおり決するに賛成  
諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（上田利治君）

起立多数と認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

以上をもって本定例会4月第2回会議に付議された案件の審議は全部終了いたしました。  
よって、令和3年玄海町議会定例会4月第2回会議はこれにて散会いたします。お疲れさま  
でした。

午前10時58分 散会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

玄海町議会議長

玄海町議会議員

玄海町議会議員